

川崎市環境総合研究所

Kawasaki Environment Research Institute



見えない環境を、見える環境に

川崎市環境総合研究所とは？

川崎市環境総合研究所は、良好な環境の維持とさらなる環境改善に向けた調査研究業務を担う市役所の研究機関です。

市民の安全・安心な生活環境を守り、未来につなぐため、市内の大気や水の環境を調査したり、環境汚染の原因究明などの研究をしたり、企業や国内外の都市などとのネットワークを生かし環境を守る取組をしています。

くらしと未来をつなぐ、環境総合研究所の使命



きれいな空気を未来につなぐ
～大気に関する調査研究～

→P.5



変わりゆく地球を未来につなぐ
～気候変動に関する調査研究～

→P.7



安心できる水環境を未来につなぐ
～水質に関する調査研究～

→P.6

川崎市環境総合研究所

川崎市の環境のあゆみ

1972

川崎市公害監視センター設置



1970年代

都市型公害の発生



1924

1924

川崎市の誕生



1960

1960年代～

産業型公害の深刻化



1970

1971

1971

川崎市公害研究所設置

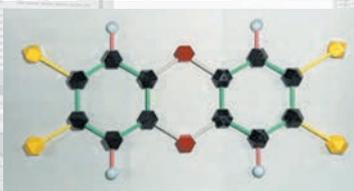


1973年竣工

1972

1990年代～

新たな環境問題の顕在化 (交通公害、ダイオキシン、ごみ問題など)



川崎市民の皆さんへ

非常事態 です。

焼却場は、
パンク寸前!!

ごみ減量大作戦に向けて
市長の皆さん。今、川崎市のごみは非常に深刻な状態に陥っています。同様に
例外ではなく、ここ4～5年は毎年約15%の割合で急増しています。
このまま増え続けると、3年後には焼却場の処理能力を超えてしま
い、焼却した灰を埋め立てる処分場も5年以内には埋蔵が尽きる
と予想されています。これまでも焼却場は、市民の皆さんととも
にこの深刻な環境問題を克服してきました。しかし、急増する
ごみ問題は、今持ったなしの事態を招いています。川崎市では、
急増するごみ問題に対し、焼却場の増設、埋立地の確保など、全
面収集の拡大・徹底などを検討していますが、何よりも市民の皆
さんの協力が不可欠です。川崎市は、皆さんと一緒にこのご
み問題・環境問題の解決、ごみ減量大作戦、を推進していきますの
で、皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

平成2年6月 川崎市長 高橋 謙

1990

2013

2020

To the future

2013

川崎市環境総合研究所設置



2020

川崎市気候変動情報センター設置



2020

2050年の脱炭素社会実現に向けて



きれいな空気を未来につなぐ ～大気に関する調査研究～

いつでも安心できる空気のために 大気環境の常時監視

市内18か所の測定局で大気の状態を24時間365日測定し、結果をホームページ等で公開しています。



▲ HPIはこちら

人の健康への悪影響を未然に防ぐ 化学物質のリスク調査

まだ規制されていない化学物質が、人の健康などに悪い影響を与えないかを調べています。



光化学スモッグ注意報発令ゼロを目指して 光化学スモッグの調査研究

光化学スモッグによる健康影響を防ぐため、発生の原因解明と対策に向けた調査研究をしています。



その他

- 有害大気汚染物質モニタリング
- PM2.5の成分分析調査
- アスベストに関する調査
- 酸性雨の監視
- 環境中の放射能濃度測定



安心できる水環境を未来につなぐ ～水質に関する調査研究～

水環境の今を知る 川や海の水質・生物調査

川や海の水質や、水の中にすんでいる生きものの種類・数を調べています。



未来の海を守る 水環境の調査研究

東京湾の海水の汚れ（COD等）の傾向を把握し、原因究明に向けた調査研究をしています。



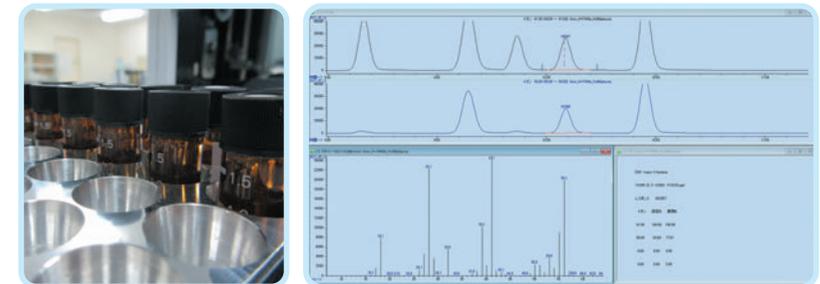
川や海を汚さないために 排水検査

市内の工場などから川や海に出る排水の水質を抜き打ちで検査しています。



リスクを未然に防ぐために 化学物質の影響調査

化学物質が川や海の生きものに悪い影響を与えないか調べています。また、水質事故や災害時などに備えた水質に関する調査研究をしています。

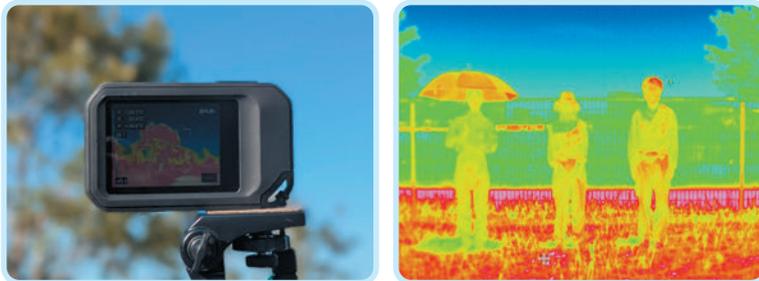


変わりゆく地球を未来につなぐ ～気候変動に関する調査研究～

変化する気候に適応するために 川崎市気候変動情報センター



気候変動の状況や影響に関する調査を行い、変化する気候に適応するための情報をわかりやすく発信しています。



世界の事例を川崎の環境改善に役立てる 国際連携プロジェクト

国際機関と協力して、世界の気候変動に関する良い取組の情報を集め、川崎の環境改善に役立てています。



気候変動対策には 2つの取組が必要です

気候変動によって以前よりも暑さが厳しくなっていたり、雨や雪の降り方が変わってきたりしています。その変化は、私たちの食料や健康などに様々な影響を与えています。

「緩和策」と呼ばれる、温室効果ガスの排出量を減らすことに加えて、すでに起こりつつある気候変動の影響に備える「適応策」に取り組むことが重要です。

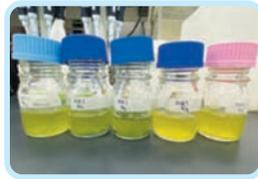


出典：気候変動適応情報プラットフォーム

みんなで力を合わせてつくる未来 ～様々な機関との連携～

最先端の環境技術を川崎で 産学公民連携共同研究事業

地域の環境課題の解決に向けて、産（企業）学（大学）公（川崎市）民（市民団体）などと連携し、共同研究を実施しています。



世界に川崎の環境技術を伝える 国際貢献の取組

海外からの視察や研修を受け入れ、川崎市が環境問題を解決してきたノウハウや企業の環境技術などを伝えています。



環境総合研究所からの情報発信

X、YouTube



▲ Xはこちら



▲ YouTubeはこちら

川崎市デジタルアーカイブ

環境の歴史を記録した写真などをデジタルアーカイブ化したウェブサイトです。



▲ Webサイトはこちら

川崎市環境技術情報

川崎がこれまでに蓄積してきた優れた環境技術や取組などを紹介しているウェブサイトです。



▲ Webサイトはこちら

環境セミナー

大気や水質など多様な環境テーマを、環境総合研究所の取組を交えながら分かりやすく学べる講座を開いています。



▲ HPはこちら

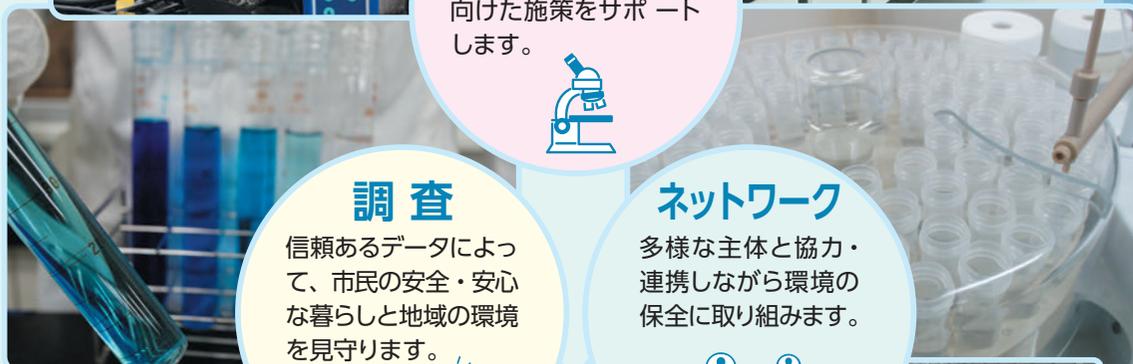
環境総合研究所がめざすもの

市民の安全・安心な生活環境を守り、未来につなぐため、環境総合研究所では「調査」「研究」「ネットワーク」の3つの機能に基づく取組を行っています。



研究

科学的知見に基づく研究で環境課題の解決に向けた施策をサポートします。



調査

信頼あるデータによって、市民の安全・安心な暮らしと地域の環境を見守ります。



ネットワーク

多様な主体と協力・連携しながら環境の保全に取り組みます。



● 地域社会への還元 ●

市民のために環境課題を解決する研究を進め、研究成果を地域の環境改善に役立てます。

● 都市と産業の共生 ●

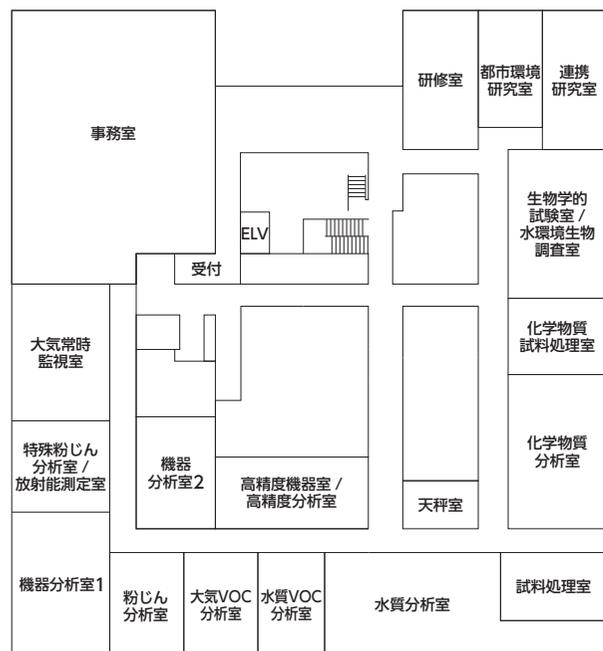
環境と経済の好循環を実現することにより、持続可能な都市を目指します。

● 国際貢献 ●

市内に蓄積された環境技術を活用し、アジア等の環境改善に貢献します。

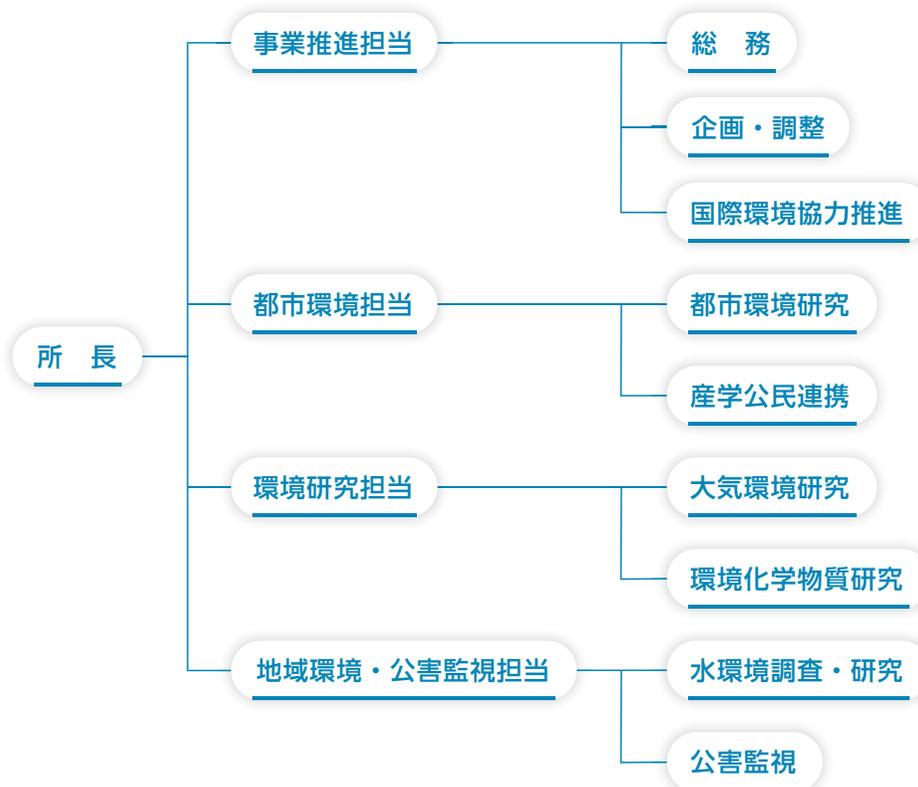


フロアマップ



組織図

(2025年4月1日現在)



アクセス

バス

JR 川崎駅東口バスターミナルから

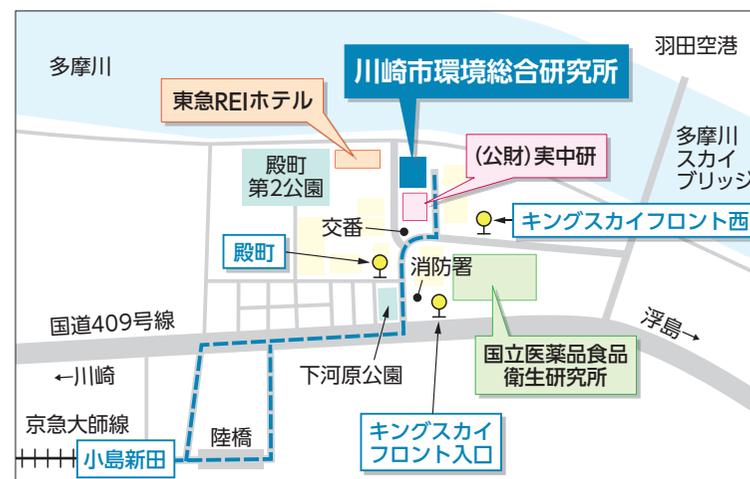
- 臨港バス 川 03 浮島バスターミナル行き
- 臨港バス 快速 急行 浮島橋行き
- 臨港バス 川 02 キングスカイフロント東行き

「キングスカイフロント入口」下車徒歩約 6 分
 「キングスカイフロント西」下車徒歩約 6 分
 「キングスカイフロント西」下車徒歩約 2 分

電車

京浜急行大師線「小島新田駅」下車徒歩約 16 分

〒210-0821 川崎市川崎区殿町3丁目25番13号 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 3階
 TEL. 044-276-9001 FAX. 044-288-3156 E-mail 30sojig@city.kawasaki.jp





Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市環境総合研究所

Kawasaki Environment Research Institute



ホームページ



令和8(2026)年3月発行